

- 問1 日本の人口動態に関する統計において、東京都では他地域から引っ越してくる人数（転入者数）が、他地域へ引っ越していく人数（転出者数）を大きく上回る状況が続いています。このような人口移動の結果として生じる人口の増加を何と呼びますか。（2018年 三重県公立入試 類似）
1. 自然的増加
 2. 人口爆発
 3. 合計特殊出生率の向上
 4. 社会的増加
-
- 問2 茨城県の産業構造について、消費地との距離や土地利用の観点から説明した文として、適切な記述はどれですか。（2021年 東京都公立入試 類似）
1. 原料の輸送コストを抑えるため、石油化学コンビナートはすべて内陸部の山間部に設置されている。
 2. 県内全域で米の単作が行われているため、食料品工業のほとんどは酒造業や米粉加工に限られている。
 3. 首都圏という巨大な消費地に近い利点を活かし、都市部周辺では食料品工業が発達している。
 4. 南部の工業団地は、海外への輸出を専門とするため、空港に隣接した電子部品工場のみで構成されている。
-
- 問3 日本の工業地域のうち、群馬県、栃木県、茨城県の内陸部を中心に発展した地域について説明します。この地域は、かつて京浜工業地帯などに集中していた工場が、用地不足や地価の高騰を避けて移転してきたことで形成されました。製品の搬出において、船舶ではなくトラックによる陸上輸送を主軸としているこの地域の名称を答えなさい。（2022年 山口県公立入試 類似）
1. 京浜工業地帯
 2. 中京工業地帯
 3. 瀬戸内工業地域
 4. 北関東工業地域
-
- 問4 「年間の日照時間」と「住宅用太陽光発電機器の設置数」の関係を示したデータにおいて、日照時間が2000時間を超えるほど長い地域は、一般的に設置数も多くなります。しかし、関東地方に位置するある県は、日照時間が長いにもかかわらず設置数が5万件を下回っており、静岡県や愛知県などの他の太平洋側の県とは異なる傾向を示します。横浜市区庁所在地に持つこの県はどこですか。（2023年 秋田県公立入試 類似）
1. 千葉県
 2. 埼玉県
 3. 東京都
 4. 神奈川県
-
- 問5 茨城県などのように大都市に隣接する地域で行われている、大消費地に近いという立地条件を最大限に生かし、鮮度が重視される野菜などを生産して出荷する農業形態を何と呼ぶか。（2020年 山形県公立入試 類似）
1. 抑制栽培
 2. 二毛作
 3. 促成栽培
 4. 近郊農業
-
- 問6 1970年代初頭から2019年にかけての関東地方における工業出荷額の統計的な変化について、正しく述べているものはどれですか。（2022年 東京都公立入試 類似）
1. 総出荷額は横ばいであるが、航空機産業の出荷額が約6.7兆円に達し、輸送用機械に代わる基幹産業となった
 2. 輸送用機械の出荷額は1971年時点がピークであり、2019年にかけて出荷額・割合ともに減少が続けている
 3. 産業構造の変化により繊維工業の出荷額が急増し、2019年には地域全体の出荷額の約2割強を占めるようになった
 4. 総出荷額が約3.8兆円から約30.5兆円へと大幅に増大し、中でも輸送用機械の占める割合が全体の2割を超えるまで上昇した
-
- 問7 日本の空港間における旅客輸送数の統計において、新千歳空港や那覇空港、大阪国際空港など全国各地の主要空港と結ばれる航空路線のうち、圧倒的に大きな輸送数を示し、日本の国内航空網の最大の拠点となっている空港の名称として正しいものはどれですか。（2022年 香川県公立入試 類似）
1. 中部国際空港
 2. 東京国際空港（羽田空港）
 3. 関西国際空港
 4. 成田国際空港
-
- 問8 北関東の栃木県と群馬県の県境付近、渡良瀬川の上流部に位置していた足尾銅山において、鉱毒被害が広範囲に拡大した地理的な理由として最も適切な説明はどれですか。（2019年 大阪府公立入試 類似）
1. 山間部の水源近くに銅山があったため、有害物質が川の流れに乗って下流の平野部にある農地まで運ばれた。
 2. 内陸の盆地で精錬が行われたため、有害物質が霧とともに周辺の山々に蓄積し、土砂崩れを頻発させた。
 3. 利根川の河口付近に位置していたため、潮の満ち引きによって有害物質が千葉県沿岸の漁場に逆流した。
 4. 新潟県側の豪雪地帯から流れる地下水と反応し、有害物質が広範な水田地帯の土壌に浸透した。
-
- 問9 2021年の千葉港の貿易統計において、輸入額全体の約54.5%を石油が占めている一方で、輸出額の上位には石油製品（30.6%）や鉄鋼（21.0%）が並んでいます。このような貿易品目の構成から判断できる、千葉港の港湾としての性質として最も適切なものはどれですか。（2024年 千葉県公立入試 類似）
1. 日本各地で生産された自動車を海外へ輸出することに特化した、自動車専用の輸出港
 2. 首都圏の膨大な人口を支えるために、海外から食料品や衣類を大量に輸入する商業港
 3. 近隣の成田国際空港と連携し、電子部品や精密機械を世界各地に送り出す航空貨物の中継港
 4. 周辺の京葉工業地域において、輸入した資源を加工し製品として出荷する役割を担う工業港
-
- 問10 日本の主要な河川のデータをまとめた資料において、ある河川は「長さが322km、流域面積が16,840平方キロメートル、流れる流域の都道府県数が6」と示されています。この河川について述べた文として、背景や影響を考慮して最も適切なものを選びなさい。（2019年 岩手県公立入試 類似）
1. この河川は、流域面積が日本で2番目に広いため、北海道の泥炭地の地質改良に大きく貢献した。
 2. この河川は、山地が急峻な日本の河川の中では珍しく、国際河川のようにゆったりとした流れが特徴である。
 3. この河川は、日本で最も長さが長いいため、上流と下流での降水量の差による増水が全国で最も激しい。
 4. この河川は、日本で最も広い流域面積を持ち、広大な関東平野の農業用水や都市用水として利用されている。
-
- 問11 関東地方では、神奈川県、埼玉県、千葉県といった周辺の県から東京都心部へ移動する「通勤・通学人口」が非常に多いという特徴があります。このように、都心に勤務・通学する人々の住宅地としての役割を担っている都市や地域を指す言葉として、最も適切なものはどれですか。（2021年 香川県公立入試 類似）
1. 政令指定都市
 2. 工業地域
 3. 限界集落
 4. ベッドタウン
-
- 問12 成田国際空港などの拠点で行われる「航空貿易」において、半導体などの電子部品や医薬品が主要な取引品目となっている理由として、最も適切なものはどれですか。（2024年 千葉県公立入試 類似）
1. 国内の港湾施設が老朽化しており、精密機械を安全に積み下ろしすることができないから
 2. 製品の形が複雑であり、船舶のコンテナに積み込むことが技術的に困難だから
 3. 航空機は船舶に比べて一度に大量の物資を運べるため、輸送コストを最小限に抑えられるから
 4. 製品が重量のわりに価格が高い「高付加価値」なものであり、輸送時間の短縮が重視されるから

答え合わせ・解説

問1	答え 4 社会的増加	人口の増減は、出生と死亡の差によって決まる「自然的増減」と、転入と転出の差によって決まる「社会的増減」の2種類に分けられます。東京都は、進学や就職を目的として地方から多くの人々が流入する「転入超過」の状態にあるため、人口移動に伴う社会的増加が顕著なのが特徴です。
問2	答え 3 首都圏という巨大な消費地に近い利点を活かし、都市部周辺では食料品工業が発達している。	茨城県は首都圏の一角に位置しており、人口の多い消費地に近いという地理的メリットがあります。そのため、鮮度や配送スピードが求められる食料品工業が都市部を中心に発達しました。また、食料品工業は県内で生産される農産物を原材料として活用する場合もあり、農業と工業が密接に関わっている点も特徴です。
問3	答え 4 北関東工業地域	北関東工業地域は、東京近郊の過密化を避ける形で内陸部に発展した代表的な「内陸型工業」の地域です。群馬・栃木・茨城の3県にまたがり、高速道路を利用した首都圏へのアクセスの良さを活かして、機械や食品などの工場が数多く立地しています。
問4	答え 4 神奈川県	太平洋側に位置する神奈川県は、気候的には日照時間が長く太陽光発電に適していますが、実際の設置数は日照時間の短い他県よりも少なくなることがあります。これは、静岡県や愛知県に比べて都市化が著しく、住宅が密集しているという地域的特色が影響しています。こうした統計データの読み取りでは、自然条件（日照）だけでなく、社会条件（人口密度や住宅形態）を組み合わせる考えることが重要です。
問5	答え 4 近郊農業	大都市という大きな市場（大消費地）に近い場所で行われる農業を近郊農業と呼ぶ。消費地までの輸送距離が短いため、鮮度の落ちやすい葉もの野菜などを新鮮なうちに届けることができるほか、輸送費を安く抑えられるという利点がある。茨城県などはこの形態を活用して首都圏へ多くの農産物を供給している。
問6	答え 4 総出荷額が約3.8兆円から約30.5兆円へと大幅に増大し、中でも輸送用機械の占める割合が全体の2割を超えるまで上昇した	関東地方の工業は、約50年間で総出荷額が10倍近くに拡大しました。1971年時点では輸送用機械の割合は8.5%に過ぎませんでしたが、2019年には22.1%（約6.7兆円）へと急成長しており、自動車産業などが地域の経済を牽引する重要な役割を担うようになっています。
問7	答え 2 東京国際空港（羽田空港）	東京国際空港（羽田空港）は、東京都心へのアクセスが非常に良く、日本の国内航空網におけるハブ（拠点）空港として機能しています。統計上の旅客輸送数では、新千歳（札幌）―羽田間や福岡―羽田間などは世界でもトップクラスの利用者数を誇ります。成田国際空港は主に国際線の拠点としての役割が強く、中部や大阪（伊丹）などの地方拠点空港と比較しても、羽田空港の国内線輸送規模は突出しています。
問8	答え 1 山間部の水源近くに銅山があったため、有害物質が川の流れてに乗って下流の平野部にある農地まで運ばれた。	足尾銅山は渡良瀬川の源流に近い位置にありました。精錬過程で排出された鉛毒や、燃料とするための森林伐採によって生じた土砂が、洪水とともに下流の平野部へ流れ出したことが被害拡大の要因です。このため、被害は栃木県内にとどまらず、渡良瀬川が流れる群馬県、埼玉県、茨城県など広範囲に及びました。
問9	答え 4 周辺の京葉工業地域において、輸入した資源を加工し製品として出荷する役割を担う工業港	千葉港は京葉工業地域の中核に位置しており、エネルギー資源である石油や液化ガスを輸入し、それを加工して石油製品や鉄鋼として輸出するという、重化学工業に特化した「工業港」としての特徴が非常に強いのが特色です。統計上も輸入の過半数が石油であり、輸出の上位を工業製品が占めていることから、この産業構造を読み取ることができます。
問10	答え 4 この河川は、日本で最も広い流域面積を持ち、広大な関東平野の農業用水や都市用水として利用されている。	流域面積とは、その河川に雨水が流れ込む範囲の面積を指します。利根川は日本最大の流域面積を誇り、日本最大の平野である関東平野を流下しています。そのため、流域に住む多くの人口の生活用水や、広大な耕作地を潤す農業用水を供給する極めて重要な役割を担っています。なお、日本一長い河川は信濃川（367km）ですが、流域面積では利根川が上回ります。
問11	答え 4 ベッドタウン	東京都心部での地価の高騰や、鉄道網を中心とした交通機関の発達により、居住機能を周辺の県が分担するようになりました。特に東京に隣接する神奈川・埼玉・千葉の3県は、都心へ1時間程度でアクセスできる場所に大規模な住宅団地が形成されており、昼間は都心へ働きに出る人々が住む街として機能しています。
問12	答え 4 製品が重量のわりに価格が高い「高付加価値」なものであり、輸送時間の短縮が重視されるから	航空輸送は船舶輸送に比べて運賃が高いため、運賃を負担しても利益が出る「高付加価値製品（軽量で高価なもの）」が適しています。また、半導体のような技術革新が速い製品や、人命に関わる医薬品などは、輸送期間を短縮することに大きなメリットがあるため、航空貿易が積極的に利用されます。